

新緑がまぶしい季節となりました。ところが国会では与党が、2018年の介護保険制度の改悪案をたった22時間の審議で衆院通過させました。改悪は許さないぞー！

市会議員（日本共産党）

すみだ 初恵

はつえ

議員団控室 TEL. 955-9551 FAX. 955-9741 自宅 TEL.&FAX. 953-5081



議員団アンケート
全戸に実施中!

「市長の判断」で

開田保育所あと地を民間企業に長期貸付

中小路市長は、市役所建て替えと合わせて、市役所向かいの開田保育所あと地を民間企業に長期に貸し、なんらかの収益施設を建てさせる構想案を示しました。この土地は、平成26年度に「庁舎か公共施設に」、その後「産業文化会館機能を含む民間にぎわい施設」と変わり、今は「産業文化会館は新庁舎の中に入れ、開田保育所あと地は民間収益施設単独」と変遷しました。

このような土地活用は、市の計画にも位置付けられておらず、党の追及に対し、市長は「市の資産の活用は経営そのもの。市長の判断」と強弁しました。「市長が言えばそれが方針」というのでは、市民や議会にはかって総合計画を立てた意味がなくなります。

この背景には、「コンパクトシティ」の名のもとに公共施設の再編・削減を進め、周辺部を切り捨て、中心部に新たな開発を誘導する、安倍政権の「地方創生」政策があります。

29年度も多数の保育所待機児童が生まれ、深刻な状況です。福祉施設なども土地確保は切実な課題です。開田保育所あと地も、公共施設としての活用も含め、市民に選択肢を示し、声を聞くべきではないでしょうか。日本共産党にぜひご意見をお寄せください。

進め方、これでいいのか？

建設費18億円の「道の駅的施設」

市長は敷地面積2万㎡の「道の駅的施設」構想を発表し「市北部に」と答弁しました。しかしそのためには市がこれまで都市計画で開発を規制してきた農地をつぶすしかありません。「ハコモノありき」ではなく、計画や農地政策に裏付けられた市政運営が必要です。

改築・移転検討中の済生会病院

市長は済生会病院の移転先について、「下海印寺が有力」と答弁しました。しかし市は現在、地域医療の方向性を決める「地域医療ビジョン」の策定に向け議論を進めている最中です。何より当事者の合意もこれからであり、市長の一言で既成事実を先行させることは慎むべきです。

2017年度予算 **くらし目線** で **チェック!**

「公立保育所増やせ」の提案に、市長「市民負担増える」



今年度は4月1日時点で92人の子どもたちが待機になりました。保育の整備は国と自治体の責任です。しかし、党議員団が、公有地を活用して公立・認可保育所の増設を求めたのに対し、市長は「公立保育所をつくると市民負担が増える」と答弁、市が主体的に保育所を増やすことに背を向けました。

日本共産党は、保育所の増設、認可外保育所の給食費や入園料などの自己負担に対する助成をするなど、保育の格差をなくす努力をするよう求めています。待機児童に関するご相談もお気軽にお寄せください。

地方から「国の介護改悪を許さない」声を

市は今年度から介護予防ボランティア資格制度を導入します。有資格者の専門職が行っていたサービスを、研修を受けたボランティアにも担ってもらうというものですが、ねらいは、これまで以上に「自助・互助」を押し付け、国の介護予算を抑制することにあります。

介護サービスは、要介護者の生活意欲を引き出すことや、小さな変化から容態悪化をいち早くキャッチするなど、責任と専門性が求められます。市民の善意を盾に安上がりになすませてもよいものではありません。介護職の待遇を抜本的に改善し、介護人員不足の解消をするべきです。

介護アンケートも実施!

ぜひ声をお寄せください!



交通問題 市民の願いに応える政策づくりを

路線バス、はっぴいバス



東部を循環する社会実験バス

東部社会実験バスの予算は、当面今年12月までとなっています。一方、「クルマ中心から公共交通中心のまちづくりで、移動しやすいまち」をめざすために設置された地域公共交通会議（長岡京市・学識経験者・公共交通事業者・市民公募委員など）の予算も例年並みにとどまっています。

市民からは「次年度から東部社会実験バスを本格稼働に」「はっぴいバス増便やコース増を」「阪急バスとの乗り継ぎや増便を」など多くの声が出ています。地域公共交通会議を充実させて、市民の願いを具体化するよう求めました。

長岡京駅前線の拡幅



JR長岡京駅前から天神石段下までの道路が産業文化会館まで拡幅されます。今後は阪急踏切を横断する用地の買収が始まりますが、国の基準で4車線道路はそのまま踏切を横断できません。踏切横断の具体化に向けては「京都府とも協議していく」との答弁でしたが、「自動車の横断と合わせて、歩行者や自転車などの安全確保が重要だ」と指摘しました。

放課後児童クラブ 指導員体制を減らすな！！

大規模化の解消を求めていた長五小A・Bクラブは、新しい合同施設が夏休み前には完成しません。しかし、指導員体制が不十分です。

市は、「各クラブを2クラスに分けるが正規指導員の配置は3人」としています。1クラス1.5人体制では、1人は2クラスをかねもちで指導することになり、「1クラブ正規2名体制」とする市の基準より実質は後退です。

放課後の生活を豊かに安心安全に運営をするために、1クラスに正規2名の配置が必要です。

ゆったりと安全な
放課後を



クラブハウス建て替え

保護者・指導員の声で前進！

一人当たりの基準面積より大幅に狭かった長三小は今年度新設設計に入り、長四小については平成31年度には新設の予定であることを担当課は表明。長六小については、新設移転の工事が今年度始まります。

向日が丘支援学校建て替えに合わせて「共生型福祉施設」構想

長年の願いであった向日が丘支援学校の建て替え計画の検討が始まりました。建て替えに合わせて、敷地の一部を活用した竹寿苑の移設や、障がい福祉サービス施設を整備する「共生型福祉施設」構想を市は明らかにしました。

支援学校内には、子どもたちの自立する力を育てる寄宿舎があります。また、障がい福祉をめぐるでは、医療ケアのできる緊急受け入れ体制やグループホームづくりなどさまざまな課題があります。支援学校の保護者や教職員、地域の福祉・教育にかかわる幅広い関係者の声をきくよう求めました。

職員の収賄事件

調査追及その⑥

収賄も贈賄もできなくするルールづくりを

市は職員収賄事件にかかる再発防止・改革検討報告書をまとめました。しかし事件の原因ともいえる、契約変更手続きのルールの甘さや入札情報の扱いなどについて明確な改革内容は示されていません。党議員団は、市と業者との契約に、贈賄など不正を行った場合に契約金額に応じた賠償を求める条項を入れるよう提案し、贈賄側のメリットもなくなすよう求めました。市は「検討する」と答弁しました。

改革をすすめる体制や市民等への報告のспанも不明確であり、党議員団は引き続きチェックと提案を行っていきます。

予算、議案などの採決結果

党議員団は、憲法、地方自治法にてらし、市民・国民の暮らしや権利を守る視点で提案への態度を決めています。

予算案・議案・意見書案	採決	共	平	公	民	八木	富田
平成29年度一般会計・介護保険・市営駐車場・水道・後期高齢者医療の5本の予算案、市一般職の任期付職員の採用等に関する条例	可決	×	○	○	○	○	○
平成29年度国民健康保険会計、他10本の予算案、空家対策協議会条例改正他15本の議案、民生委員・児童委員への活動費に関する意見書案他3本の意見書案	可決	○	○	○	○	○	○

※表中会派名 共：共産党 平：平成3クラブ 公：公明党 民：民主フォーラム

2017年度に実現します！

- ・九小トイレ・外壁工事
- ・三中・四中の音楽室エアコン工事
- ・JR長岡京東口駅前広場整備の基本計画策定
- ・JR長岡京西口エスカレーター改修工事
- ・神足保育所増築・改修工事
- ・60人定員の認可保育園新設(井ノ内に今秋)
- ・新田保育所建設工事
- ・小規模保育園2ヶ園開設(友岡・下海印寺)
- ・幼稚園と認可外保育園の併用利用への助成
- ・つどいの広場拡充で地域子育て支援センター増へ
- ・十小給食室建設工事(二中給食にも対応)
- ・三小・五小・六小・十小の放課後児童クラブ建設へ
- ・通級指導教室の増設(三小1クラス)
- ・北開田児童館に就学前親子の居場所づくり
- ・市委託の高齢者配食サービス、週7日利用・夕食利用に拡充、委託事業所数の拡充



JR長岡京東口

- ・特別養護老人ホーム1ヶ所整備への助成
- ・期日前投票所増設(バンビオ1階で2日間)
- ・女性交流支援センターで男性の電話相談実施
- ・空家の発生抑制と利活用のための計画策定
- ・地元農作物の地産地消推進の講座開催
- ・生物多様性を守る「西山再生プロジェクト」スタート
- ・災害時要配慮者に配慮した防災資機材の整備
- ・住民主体の避難所運営訓練への補助
- ・災害ボランティアセンターの人材育成・研修補助拡充
- ・災害時の地域での個別避難計画づくりへの支援
- ・大下津ポンプ場の今後のあり方について調査検討

など

国保料の軽減対象がひろがります

2割軽減になる世帯

前年度の世帯所得合計 ≤ 33万円 + (48万円 × 被保険者数)

拡充後 49万円

5割軽減になる世帯

前年度の世帯所得合計 ≤ 33万円 + (26万5千円 × 被保険者数)

拡充後 27万円

相談ごと、ご意見をお寄せください。

党議員団(直通) 電話955-9551 FAX955-9741

e-mail jcpnagaokakyo@gmail.com

日本共産党長岡京市会議員団

検索

よろしければおきかせください。

お名前

ご住所

お電話